

身近な病気、頭痛について聞きました

# 見過ごすと「怖い頭痛」も 軽く考えず早めに相談

頭痛は、日常生活で身近に感じる症状。

でも、頭痛の中には、放置しておくとお命にかかわるような「怖い頭痛」もあるとか。

頭痛の種類や対処法について、とみた脳神経クリニック院長・富田洋司先生に聞きました。

## とみた脳神経クリニック



とみた脳神経クリニック院長  
富田洋司先生

神戸大学医学部卒業。同大学大学院医学研究科博士課程修了。医学博士。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。2012年11月、とみた脳神経クリニック開院

このような  
症状があれば  
二次性頭痛かも

- 今まで経験したことがないほど痛みが強い
- いつもと様子が異なる
- 痛みの頻度と程度が増していく
- 50歳以降に初発した持続性の頭痛
- 神経脱落症状  
(手足が動かない、しびれる、ふらつく、しゃべりにくいなど)を有する

● 脳に異常のない「二次性頭痛」  
市販薬の過剰な服用に気をつけて

「頭痛には、脳が正常に働いていない」といって、生活に支障をきたすことも。頭痛の原因がある「二次性頭痛」が「怖い頭痛」である人は、相談してほしいですね。田先生。

二次性頭痛には、「片頭痛」「緊張型頭痛」などがあり、多くの場合は生命に影響することはありません。しかし、「仕事や家庭が手につかない」「外出が辛い」といって拍動型の強い頭痛が特徴。頭の片側だけに痛みが生じることも多く、生活に支障をきたすことも。頭痛の原因がある「二次性頭痛」が「怖い頭痛」である人は、相談してほしいですね。田先生。

「緊張型頭痛」は、頭や首、肩の筋肉が緊張する。二次性頭痛には、「片頭痛」「緊張型頭痛」などがあり、多くの場合は生命に影響することはありません。しかし、「仕事や家庭が手につかない」「外出が辛い」といって拍動型の強い頭痛が特徴。頭の片側だけに痛みが生じることも多く、生活に支障をきたすことも。頭痛の原因がある「二次性頭痛」が「怖い頭痛」である人は、相談してほしいですね。田先生。

また、「二次性頭痛」では、市販薬を利用する人も多いですが、気をつけたいのが、「薬物乱用頭痛」です。薬を過剰に服用することで、脳が痛みに対する感覚が鈍り、頭痛の頻度が増えたりします。服用方法に注意して利用しましょう。



● 重症化すると危険な「二次性頭痛」  
脳卒中が原因で突然発症も

命にかかわる場合がある「二次性頭痛」の中でも、脳卒中が原因で突然発症する「怖い頭痛」があります。脳卒中は、脳血管が破れ、出血や脳梗塞を引き起こす病気です。頭痛が強い場合は、脳卒中の可能性が高まると考えられます。脳卒中は、脳血管が破れ、出血や脳梗塞を引き起こす病気です。頭痛が強い場合は、脳卒中の可能性が高まると考えられます。脳卒中は、脳血管が破れ、出血や脳梗塞を引き起こす病気です。頭痛が強い場合は、脳卒中の可能性が高まると考えられます。



写真左・1.5T超伝導MRI装置を設置。脳ドック(標準コース4万2000円)も受け付けています  
同右上・16列マルチスライスCTも導入。MRI検査やCT検査は紹介状なしでも受診可能  
同下・ゆったりとした待合室

